

2019年度 小学部だより

ねむの木

相模女子大学小学部
〒252-0383 相模原市南区文京 2-1-1



スクールバディと昼食

「おむすび」と「おにぎり」

校長 竹下 昌之

“ポーっと生きてんじゃねーよ”という決めセリフが有名な、毎週金曜日夜のNHKTV人気番組「チョコちゃんに叱られる」で、先月、「なんで、おにぎりは三角形なの？」という問いに対して、「おにぎりが三角形なのは、”神様が宿りやすいから”と昔の人は考えていた！」と解説していました。(5月10日放送)

ところで、「おむすびころりん」といえば、日本の昔噺のなかでも誰もが知っている有名なお話。

では、「おむすび」と「おにぎり」は同じものですか？ちがうものですか？

“おにぎりを通じたコミュニケーションで、人と人をつなぐ”ことを目的として設立された日本おにぎり協会の説明によると、主として形や握り方、呼び名の違いによって、「おむすび」と「おにぎり」に分かれるとのこと。

つまり、「おむすび」は、神の力を授かるために米を山型（神の形）にかたどって食べたもの。「おにぎり」は、「にぎりめし」の転じたもの。「おむすび」は三角形でないといけなくて、「おにぎり」は、どんな形でも良いという説が有力とのこと。

一方、呼び名は日本の大部分で「おにぎり」が一般的なのに対して、関東から東海地方にかけては「おむすび」と呼ばれています。しかし、東京都と神奈川県では「おにぎり」と呼ぶケースが多いようです。また、「おにぎり」と呼ぶコンビニ（コンビニエンス・ストア：ローソンなど）もあれば、ファミリーマートやセブンイレブン（関東・山梨・長野・静岡限定販売）のように「おむすび」と呼ぶコンビニもあります。

・おにぎりの歴史

おにぎりの起源は、平安時代の「頓食」（とんじき）という食べ物と考えられています。現在のようにおにぎりにのりが巻かれ始めたのは、加工された四角い板のりが「浅草海苔」などの名称で一般に普及した江戸時代の中頃です。

のりは、栄養が豊富でかつ、手にご飯がつかないという便利さもあいまって、おにぎりにのりを巻く習慣が根づきました。江戸時代は、どんな場所でも食べられる携行食として重宝されていましたが、現在では、携行食という概念がほとんどなく、日常的に食べる一般食として普及しています。

また、以前は「先巻き」のしっとり派のおにぎりが主流でしたが、今から50年位前の1970年代にコンビニが日本にでき、「後巻き」のパリッと派が根づきました。当時のおにぎりはご飯をフィルムに入れたのりで巻いており、パリッとした食感を楽しめる反面、食べるまでの作業に手間取りました。だが、1970年代後半、長野県のおそうざい屋さんが手軽にのりを巻ける画期的なパッケージを考案。このパッケージに目をつけた間屋さんが実用化し、大人気を博しました。このヒットを受け、1980年代にはコンビニ各社が独自のパッケージを開発し、現在のような形式になったそうです。また、このパッケージは家庭用にも普及し、「家庭で作るおにぎり＝しっとりのり」というこれまでの常識をくつがえし、しっとり派とパリッと派を分けるきっかけとなりました。

・おにぎりとおむすびの記念日

「おにぎりの日」は6月18日。日本最古のおにぎりが発掘された石川県能登半島に位置する旧鹿西（ろくせい）町（現・中能登町）が記念日登録を行い、制定されたのが「おにぎりの日」。これは旧鹿西町の町おこしのため6月は鹿西の「ろく（6）」から来ています。そして、毎月18日に制定されている「米食の日」から取って、6月18日が「おにぎりの日」になったということです。ちなみに、毎月18日が「米食の日」なのは、「米」という漢字が「十」と「八」に分解できるからで、1978年10月に三重県が制定しています。

一方、「おむすびの日」は1月17日。1995年1月17日に阪神大震災が発生。寒く厳しい時期に避難生活を強いられた人々に配られたのがおむすびでした。ボランティアの人たちによって行われる炊き出しの中でもすぐに、そして、どこでも食べることができたのがおむすびだったというわけです。この時にお米やごはんの大切さを見直す運動が行われ、設立されたのが「ごはんを食べよう国民運動推進委員会」。この委員会が震災を忘れないようにと声をあげ、制定されたのが「おむすびの日」です。

☆ ☆ ☆

結びに、ある調査による「おにぎりの具」ランキングを紹介します。皆さんはどんな具が好きですか？

[子ども向け] 第①位: 鮭 ②ツナマヨネーズ ③昆布 ④おかか ⑤ふりかけ(まぜこめごはん)

[大人向け] 第①位: 鮭 ②梅干 ③辛子明太子 ④ツナマヨネーズ ⑤おかか